

Title	グローバル・ベンチャーリング-A Study of New Global Innovative Companies-
Sub Title	
Author	彭雅秀(Pen, Gashiyuu) 奥村昭博
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1997
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1997年度経営学 第1377号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001997-1377">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001997-1377</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

No. 1377

学生氏名

彭 雅秀

主査 奥村 昭博  
副査 青井 倫一  
浅川 和宏

所属

奥村 昭博 研究室

グローバル・ベンチャーリング  
—A Study of New Global Innovative Companies—

市場のグローバル化はますます進んできた。ボーダーレス・エコノミーの時代は既にたどり着いてきた。という変化は企業として危機ではなく、チャンスであり、転機であることに気づかなければならない。本論文研究は、この“無国籍の時代”における、相応しい経営理念、経営戦略および経営的な発想を提起したい。

本研究にては、国境を越え、既存の枠組みに縛らず十二社のイノベティブな企業を考察した。主には日本と台湾のハイテクもしくは半導体産業に属している企業である。本文にわたって、八社の事例研究および事例分析を通して、真のグローバル企業、真のイノベティブ・カンパニーとは何か、に関して研究したものである。

結論からいうと、グローバルの視野を持ち、世界中にあらゆる外部資源を活用しながら、柔軟性を身に付けるプロセスとはグローバル・ベンチャーリングである。イノベーション志向型企業は、グローバル・ベンチャーリングの経営手法を取り入れるべきである。